

改撰

大工初心圖解初編

株田長司著

下

福岡第一師範學校
(學校圖書)

登記號	名	門	部	項	次
	工業科	門			
	建築工學	部			
	建築材料及構造	大工	項		
		目			
全	1	冊之內號	1	冊	
分	25654	號			
卷	第	524.5			

T1A1

50

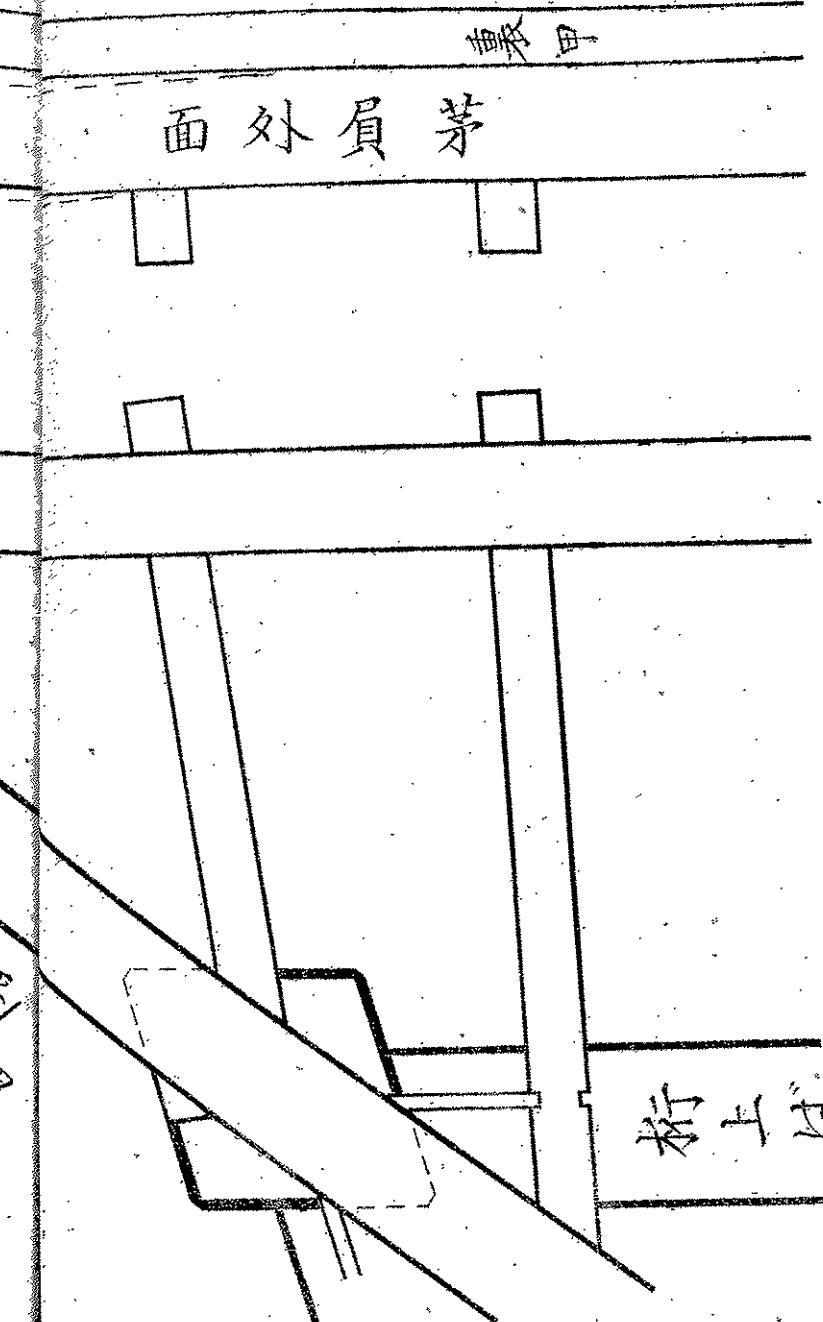
(SA69)

改擴大工初心圖解初編卷之下目錄

改大工初心圖解初編卷之下目錄

力士心齋角衣錄卷之二

一尺は付七寸五分の振地 捅伏地 並
茅員反形圖



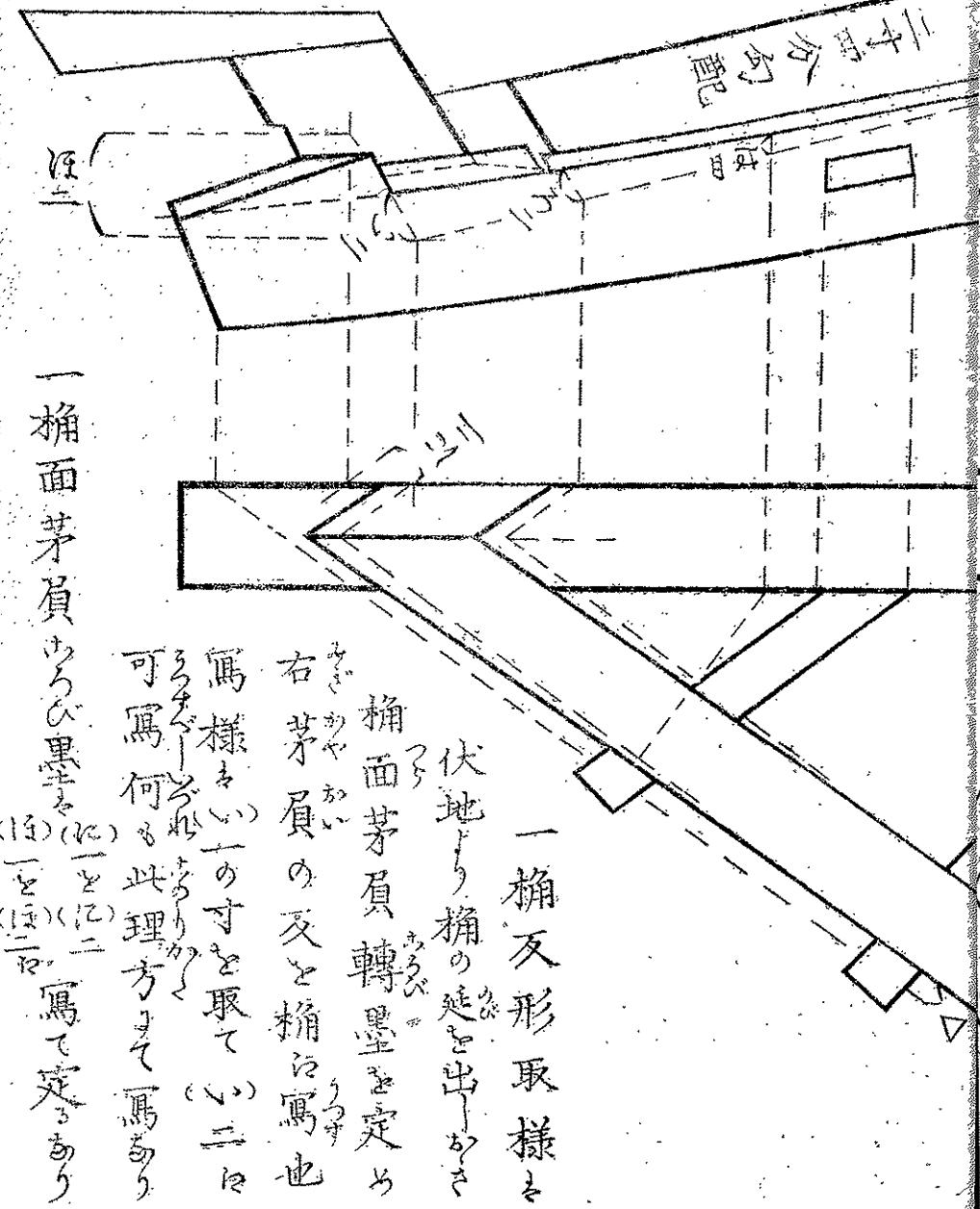
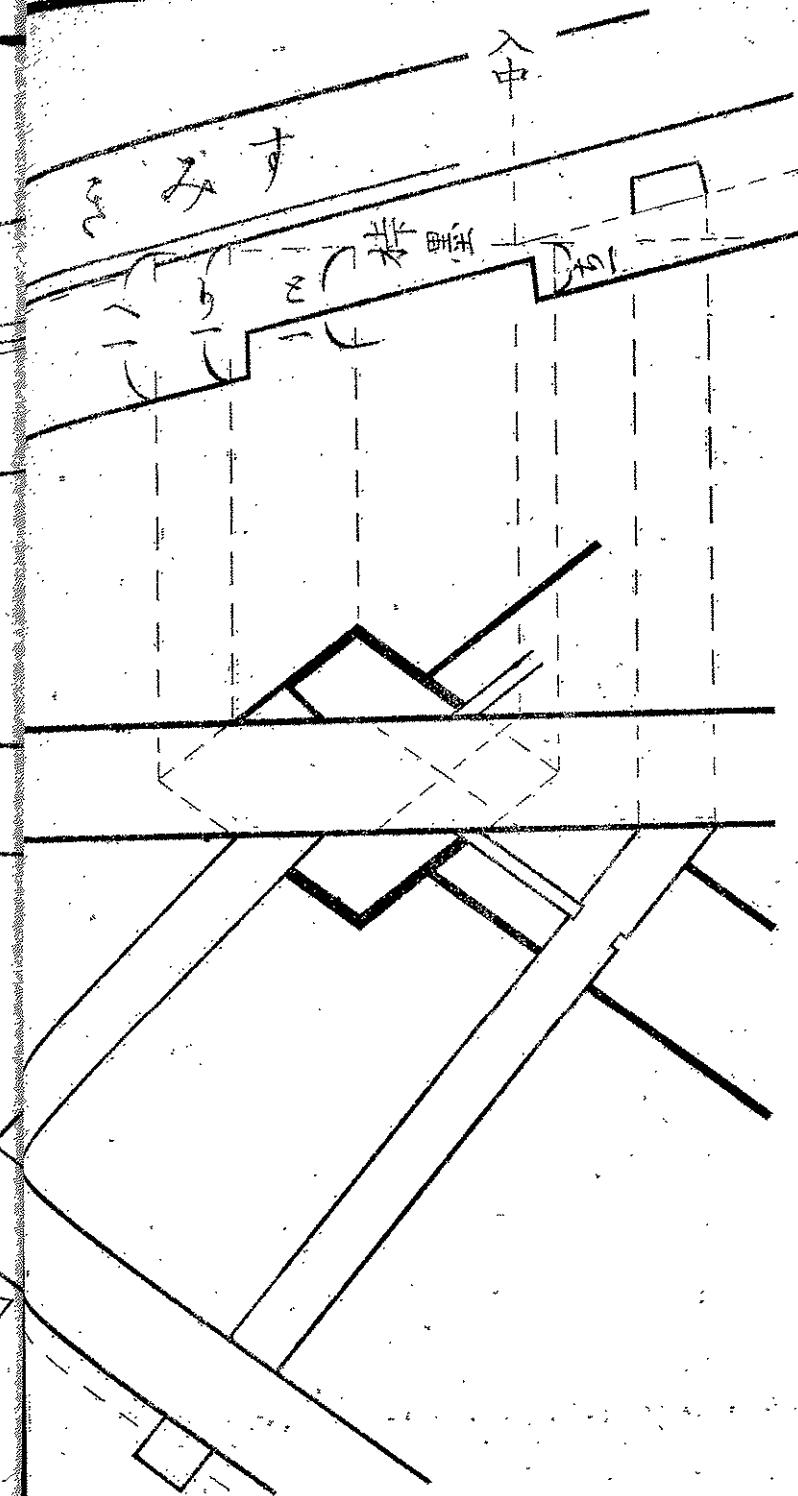
一茅負上以留
向留墨如圖也

一色 橋を振揃ひ

理方より心得て作也

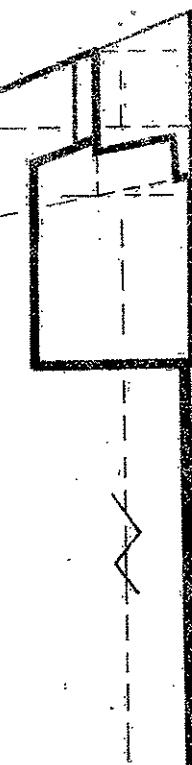
同伏地並桶反形取様

ノヨニ表山圓角不絶



大工
見付

同棲定規柱 桶落懸



見付

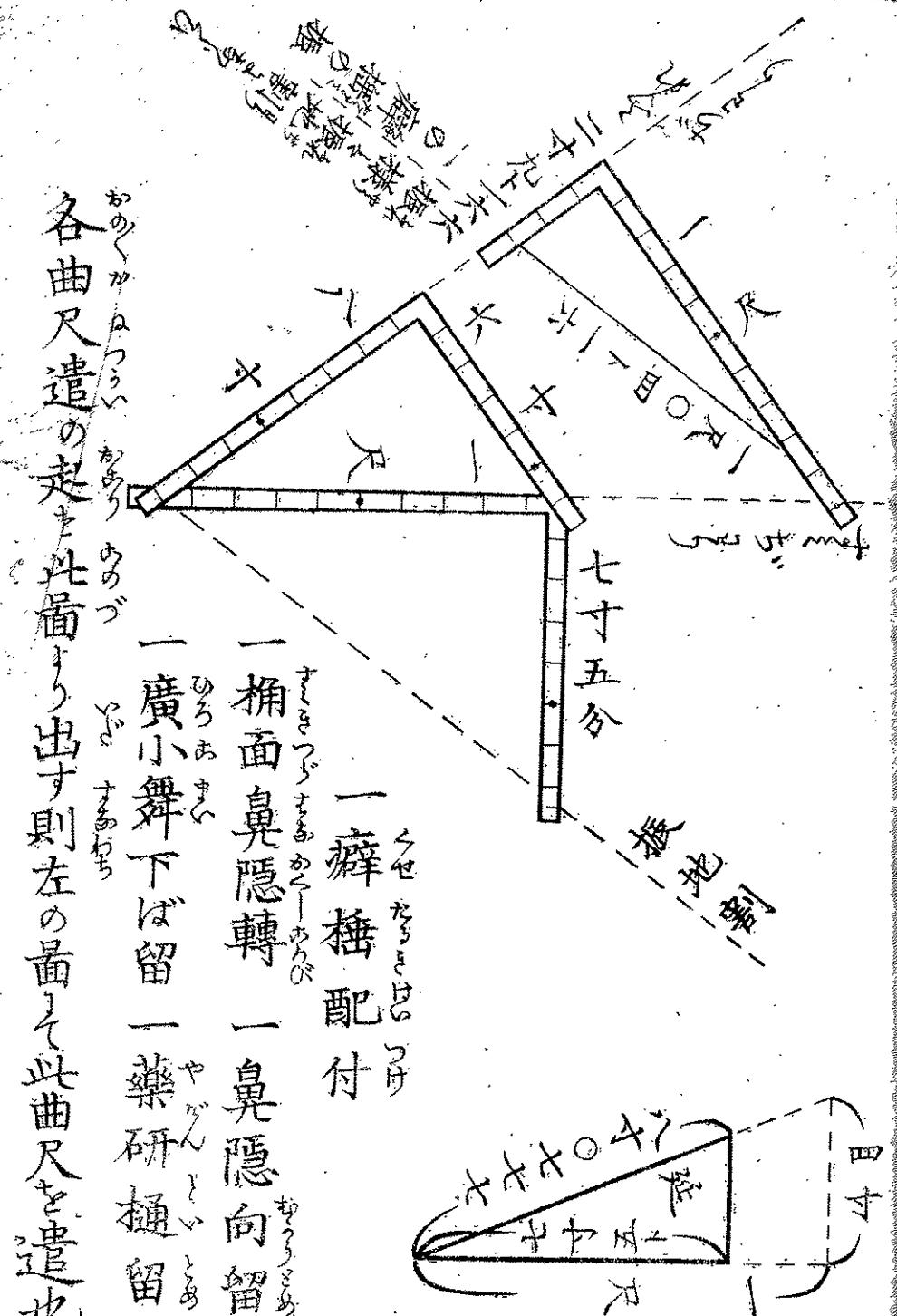
見付

一 落懸 下り取様 木へとち通りき桶持墨 下り 远の下り
を柱寫す文也 又曰寫たる上々 下ば勾配も定す也 又り通り
桶口脇より下ば遠のせひを柱寫す也 又曰寫たる上々 柱胴突
勾配も定す也 平檻勾配四寸九分 落懸下ば勾配壹寸九
分二厘もある也 又曰見付見込とも同勾配あり 柱胴突勾配
三寸八分四厘ある也 桶勾配二寸四分ある也 桶持墨を入中
檻下ば墨のひつぢより出す也 一本割檻を下ば壹寸付せい
二分増也 茅員を檻下ば二本の角也 又曰臘よ二分増り

大工本心造角木継者之一

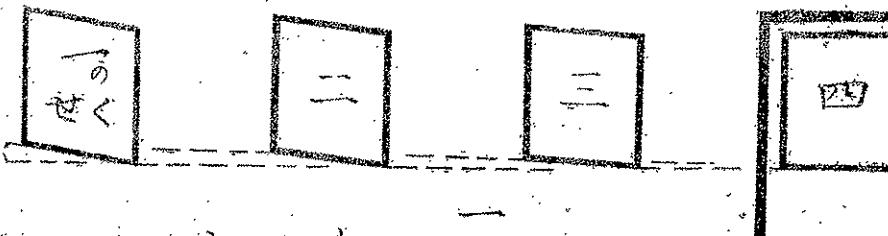
裏甲見付を檜下ば程まで鼻よ一分半増り幅を茅脛の
大二枚よ致一枚出す也桶を檜下ば二本と下ばとす同様
を檜下ばとせし程あり桁の下ばも桶下ばの裏目もセイ
其寸よ三分す也尤桁の大きさ是を茂檜より出一尺割
不有也又此部檜間も茂檜より出一尺小間りりよ
ゆく六尺と四つ割の圖あり

並よ同振地寸五分に平檜勾配を引土がる延
一名 配延



各曲尺遣の走き壯番り出す則左の量を此曲尺を遣也

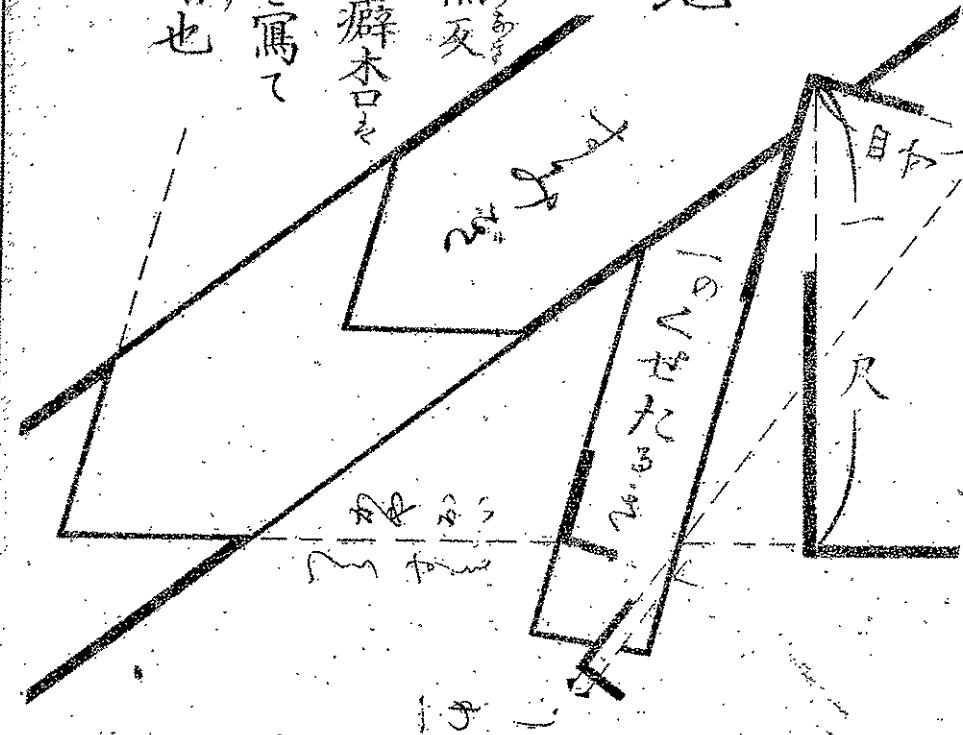
樣取口木癬種同



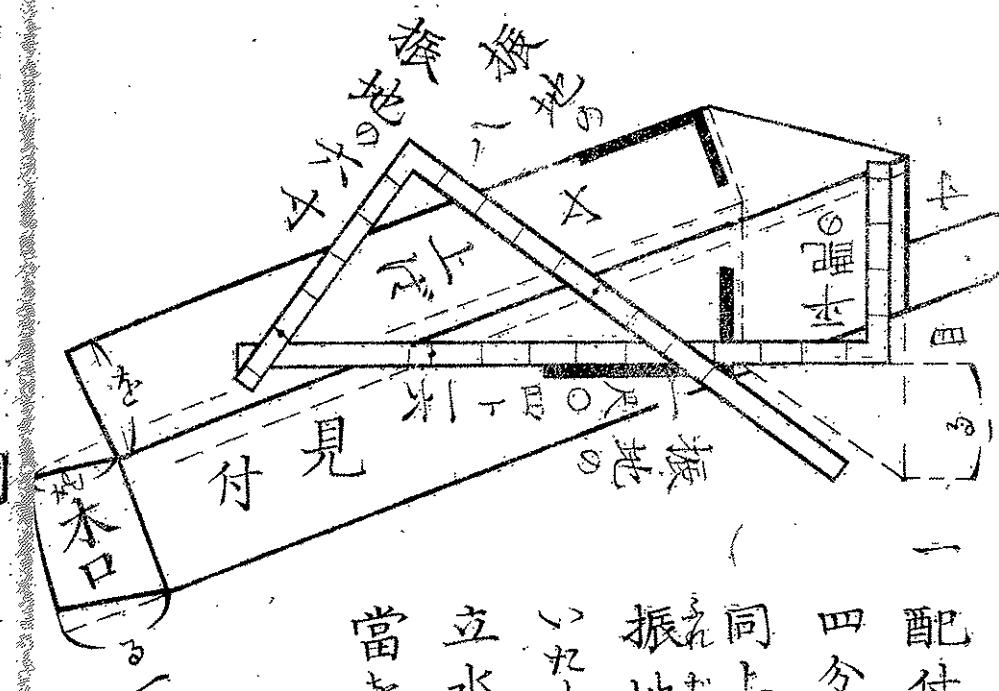
此癖木口も
茅負下ばよ無反
所の面也依て一癖本
茅負の及上りを寫
此餘蓼を可増也

5

癖を同出する者伏地

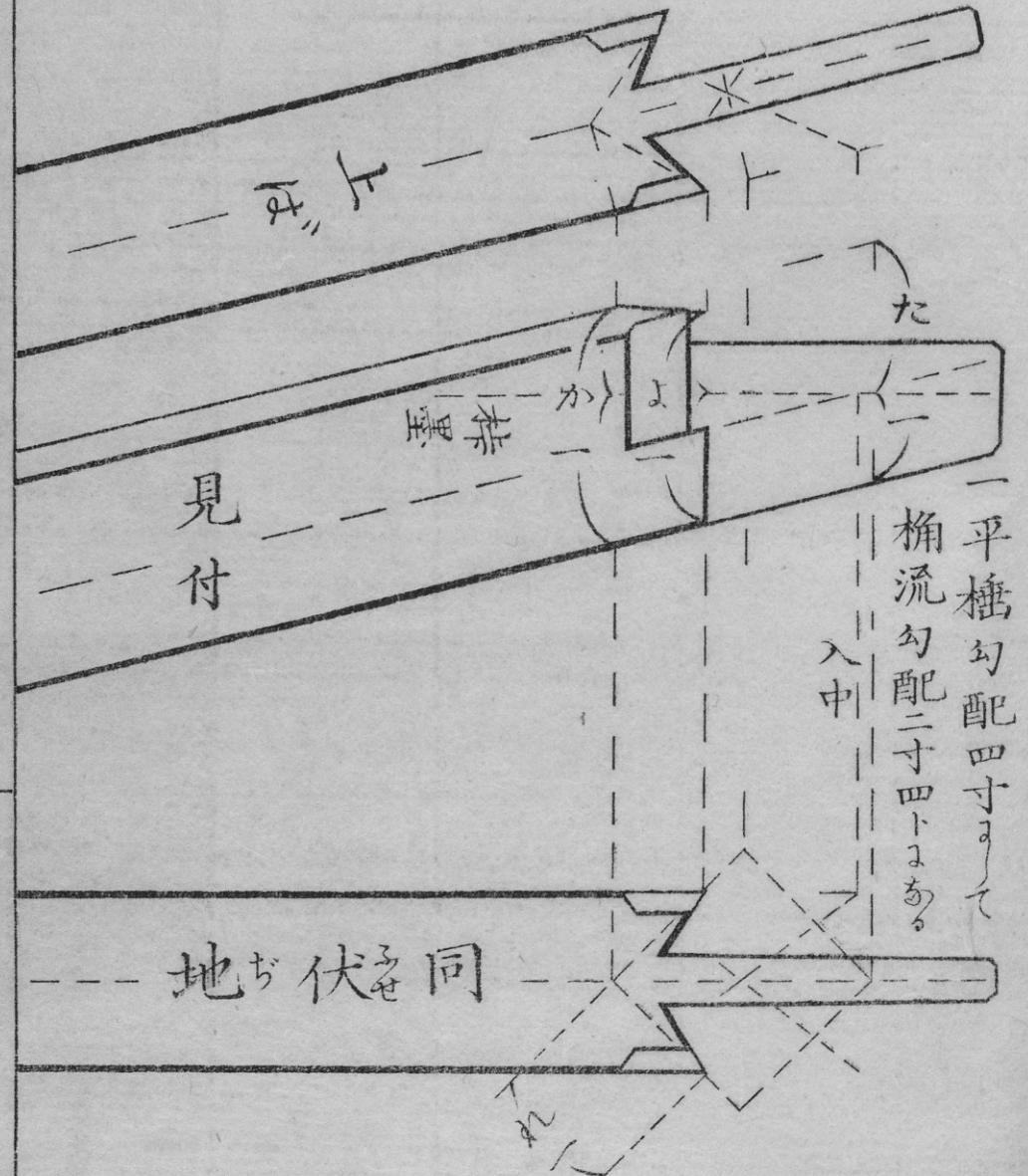


様伐又付配櫻一の同

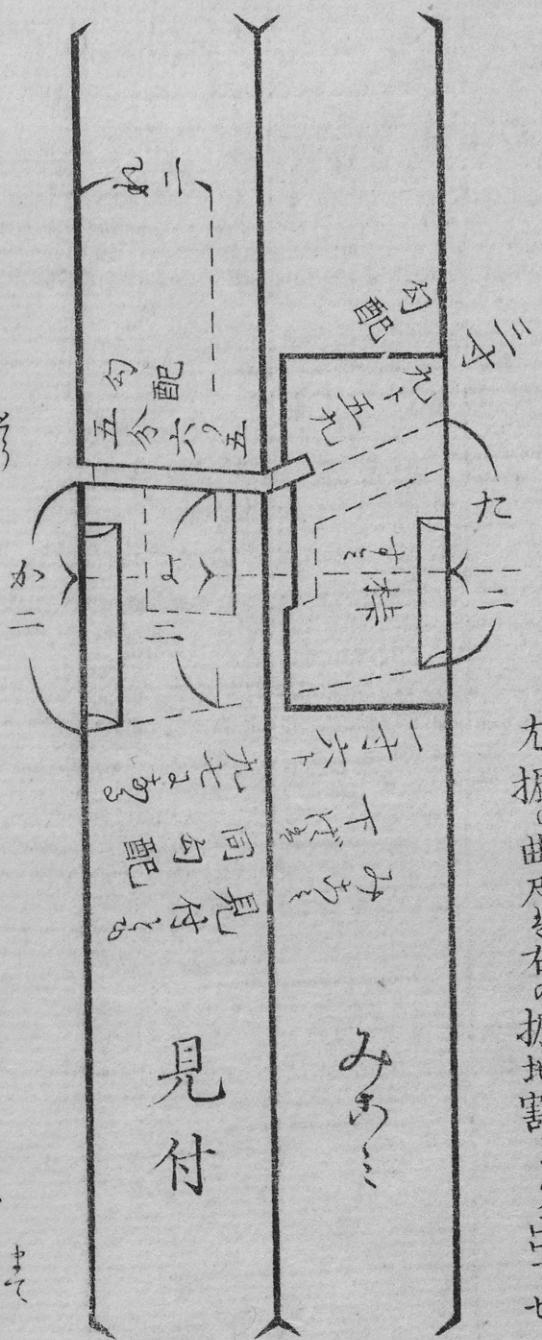


配付見付の墨を振地の一尺。
四分一六よ平檣勾配の四寸也。
同上ば墨を（一の字を）二に寫て
振（ち）地（ち）の八寸よ同六寸の勾配よ
べれり其止りより癖（ぬき）の當（あ）まで
立水（たみ）引上（ひしや）げ上（かみ）ば（かね）曲尺（くせじゆ）の手よ
當（あ）を付かどより伐付墨引（はぎひ）
一檣（いつばん）のせいを桶（おけ）寫（うす）
たま（たま）せら立水（たみ）のすを
すまきの立水（たみ）寫（うす）

桶 棒 同

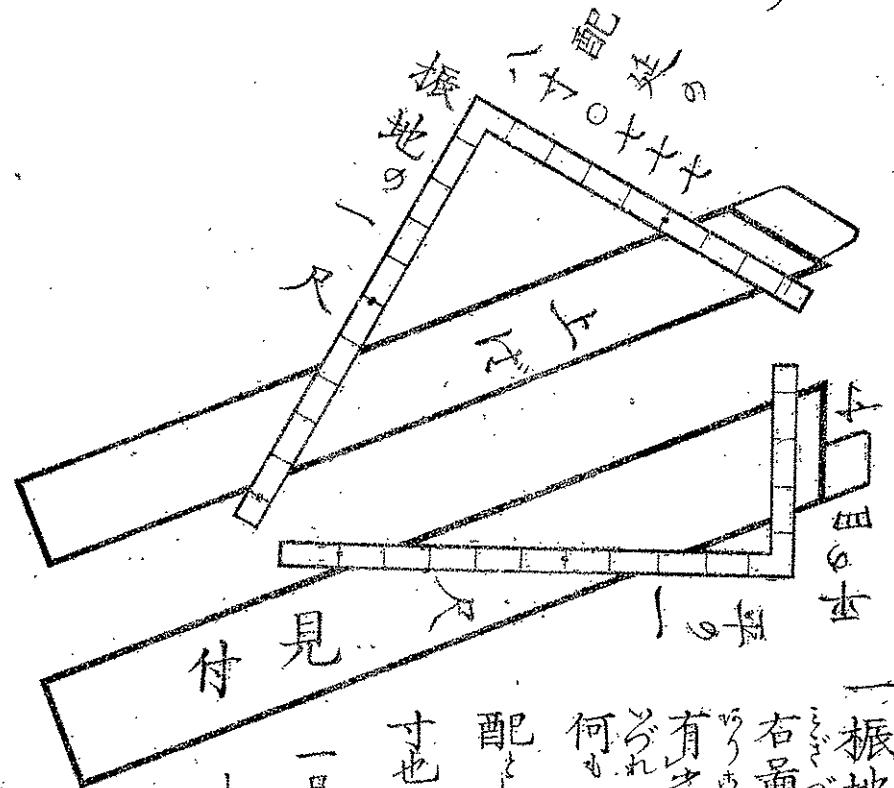


一 差口穴墨寫様(か)通り(か)通り(か)を桶の志(ご)上げ(さ)り下(さ)げ(さ)迄(まで)
櫛(くし)寫(う)す文也又(よ)通り(か)ハ桶口脇(わき)より同下(さ)ば迄(まで)と櫛(くし)に寫(う)あり
何れも 桧(ひのき)墨(ぼく)より上下可(こ)レ寫圖(う)の(お)く(く)勾配(くばい)あるが(が)り



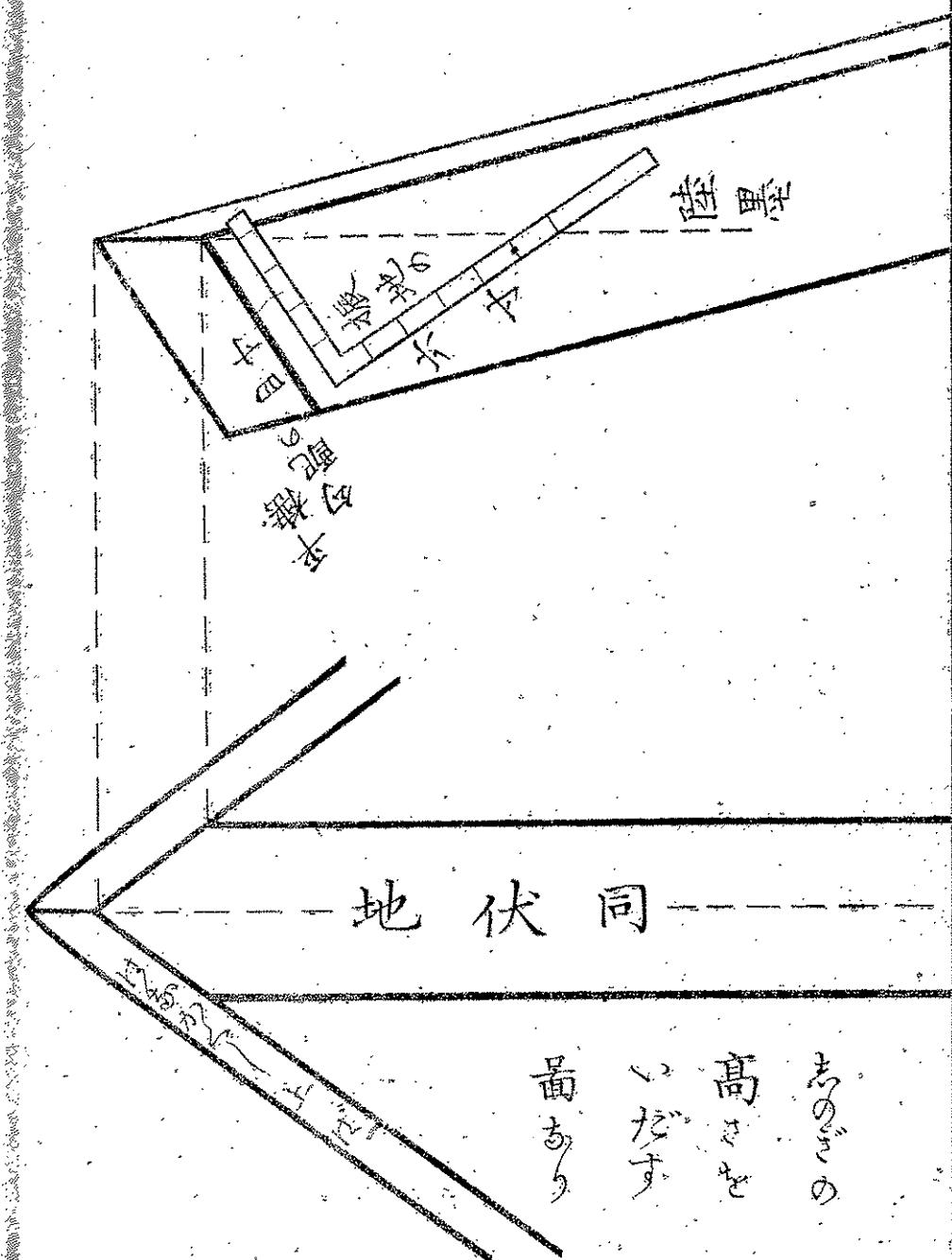
同振地 まづは 別端 真曲尺 檻 棒 楠 差口 穴墨塗

付ノ配ノ種ノ尺校曲カ真木行其同

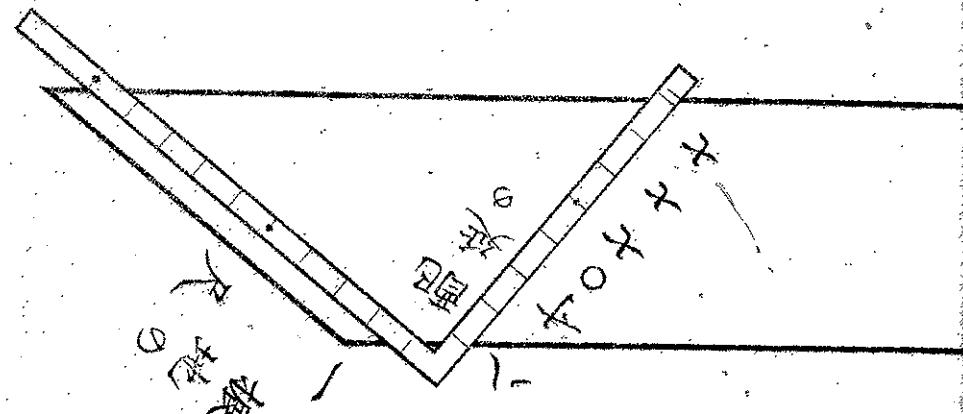


一 振地の又を配の延のと書て有
右曲振地割り出たる曲尺
有之て振地のとよて有方を
何れある
其時の振のす也又平櫛勾
配とて有方と何時勾配の
寸也右曲振地割り隅の地割
一尺上らうき付其一尺を元
にて各曲尺遣き出べ
地振何程又を櫛勾配
何するも此理方ある

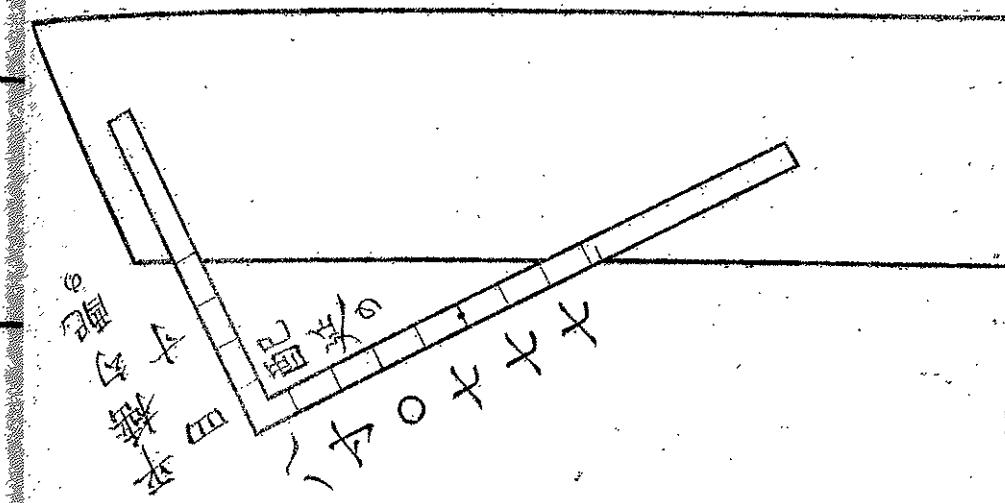
墨す轉え隠す鼻す面す桶す同



留リ端エンド下シタ舞マツル小コトハ廣ヒロシマ同ドウ

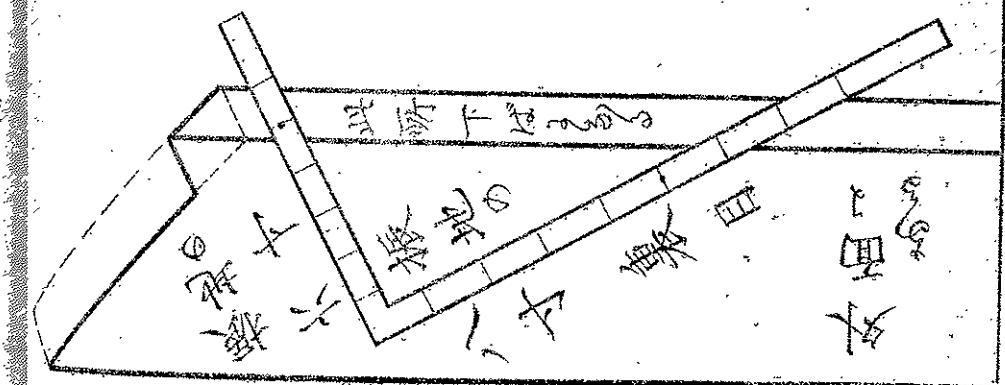
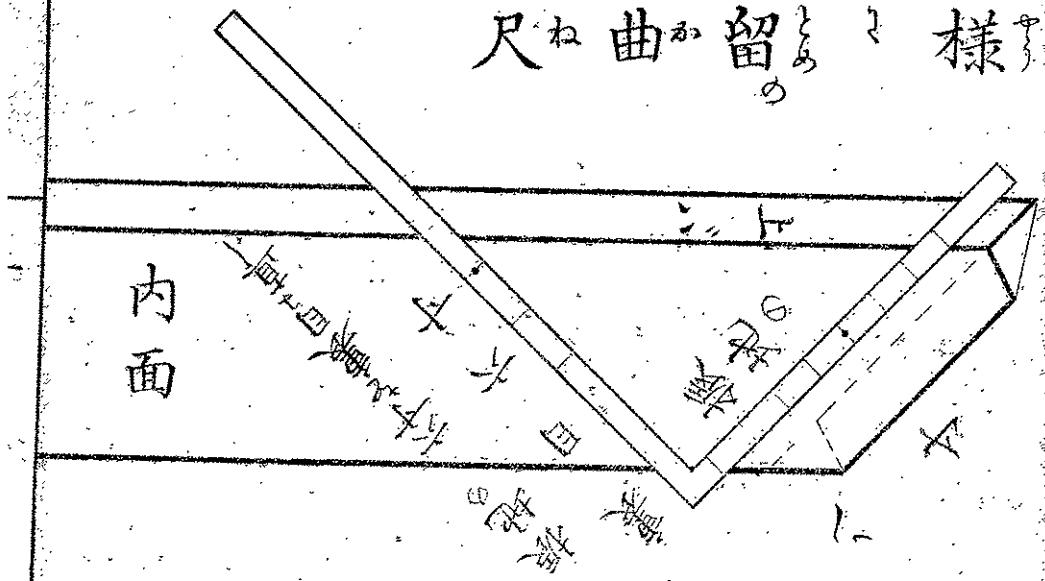


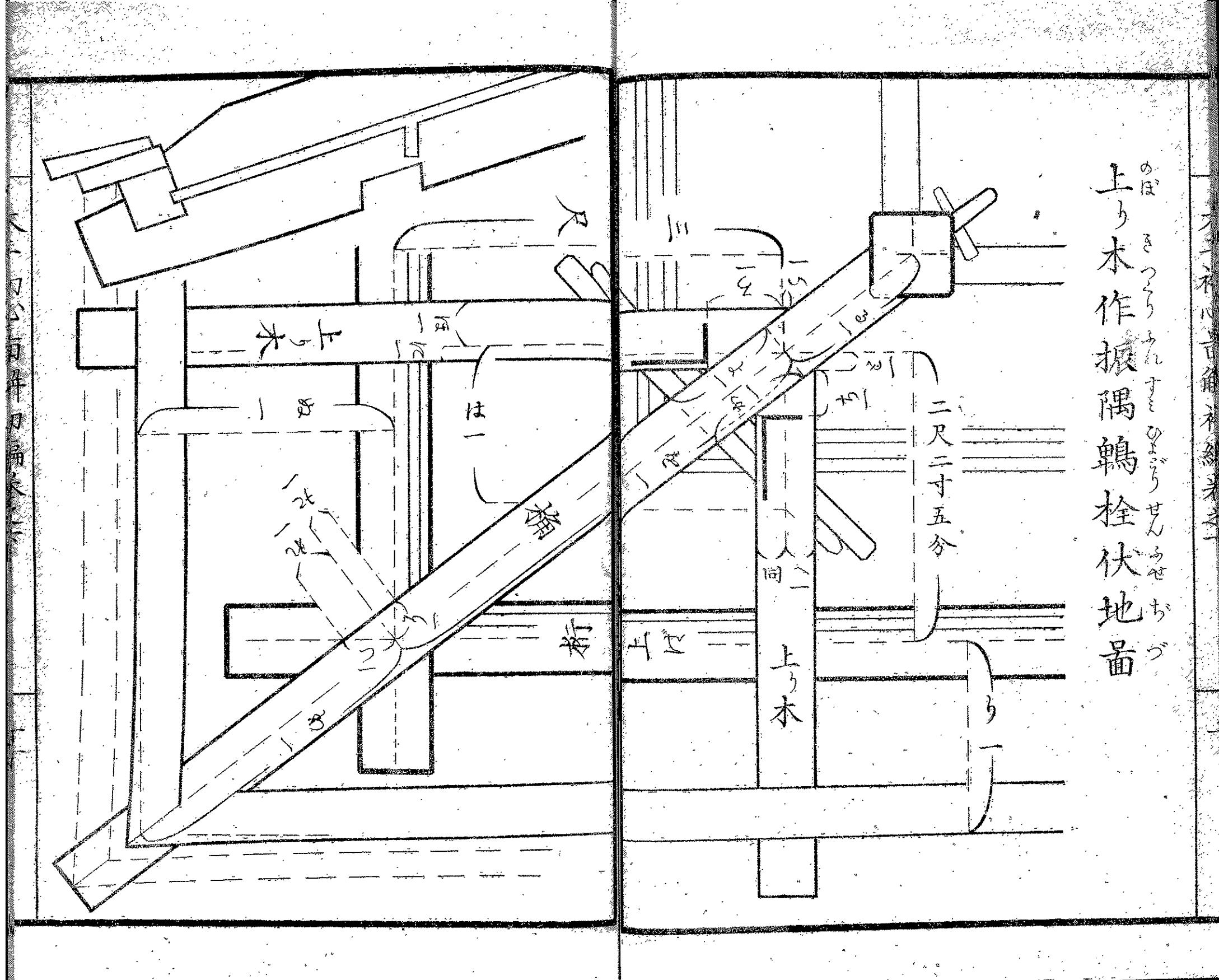
留リ向リカニ隱ヒカニ鼻ヒナ同ドウ



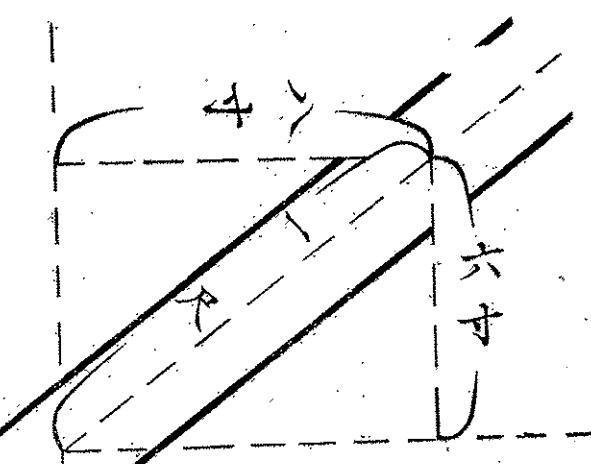
並アリ

尺スケル曲カーブ留リ様リメイ成ル隅ヤマツ桶バケツ研ハラフ藥ヤク同ドウ

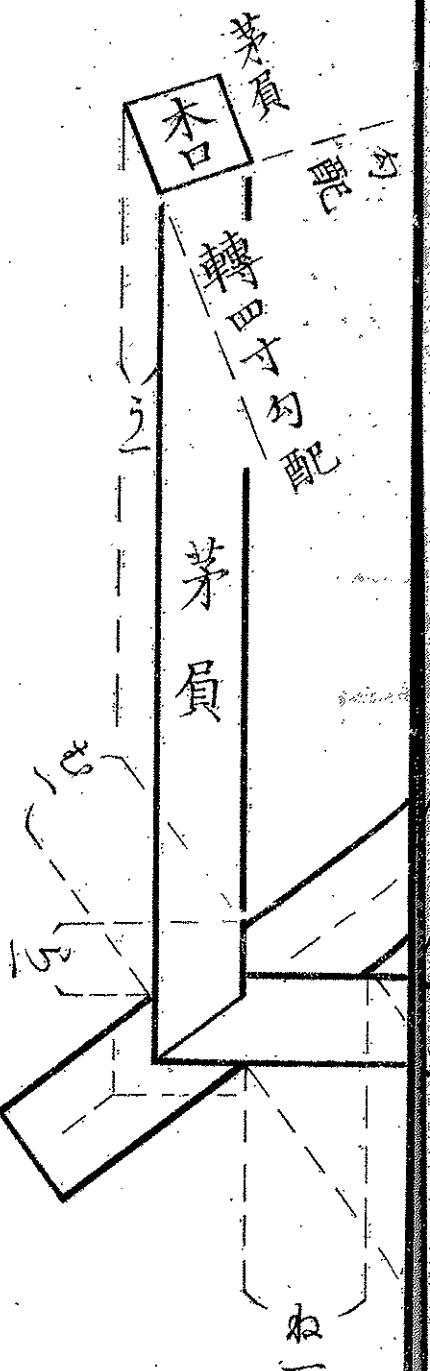




同伏地



茅員ハ陸墨の量あり

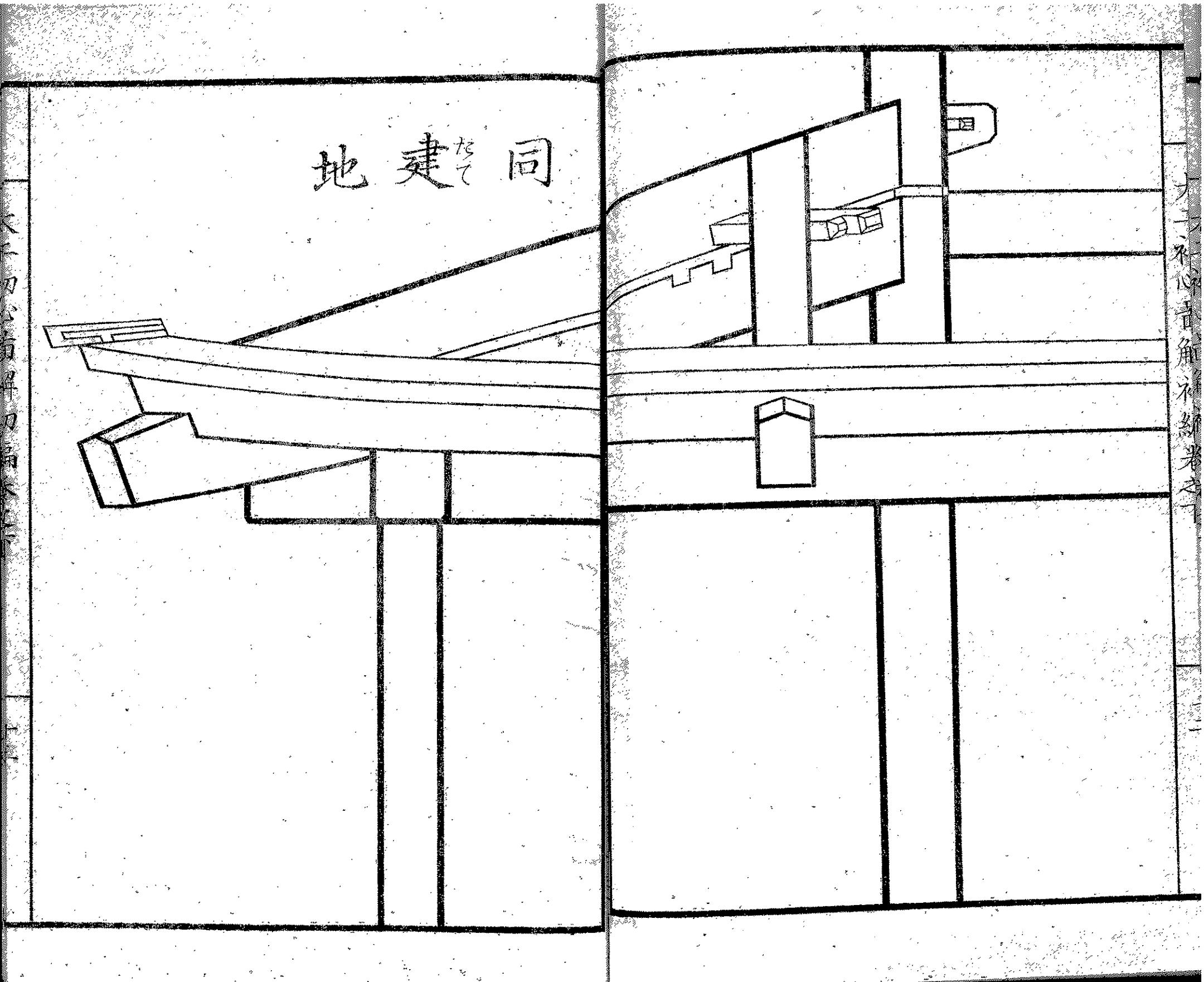


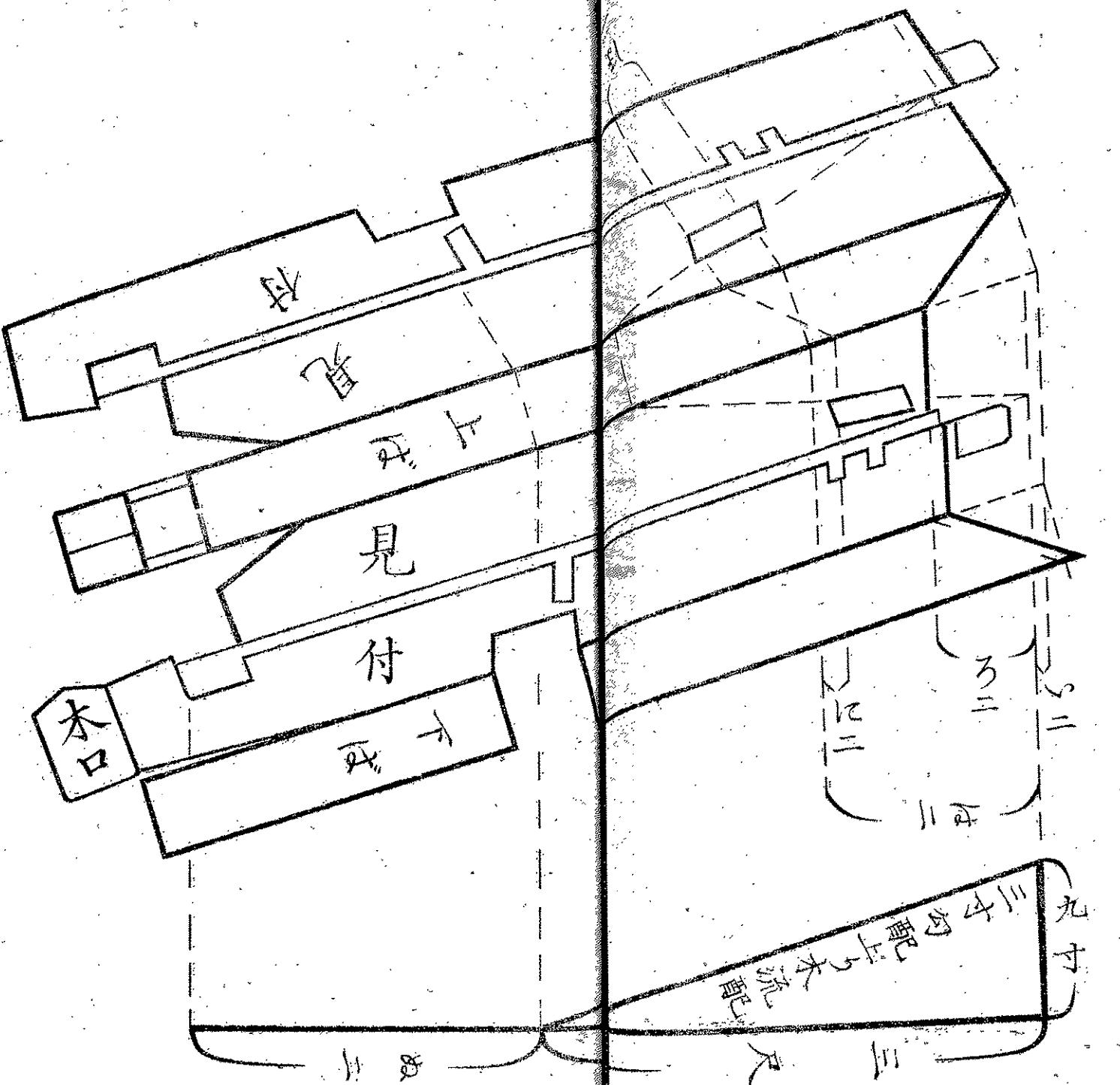
一面の如く
寫す何より如此と寫すあり

一桶の中墨に一尺とて術より曲尺の手八寸あり此
寸を桶面茅員轉墨の長手曲尺より可用横手曲尺
を茅員向面轉墨の四寸と用あり亦六寸有是も
同斬あり則左の桶反り形の量より遣あり

大刀之口角不經光之

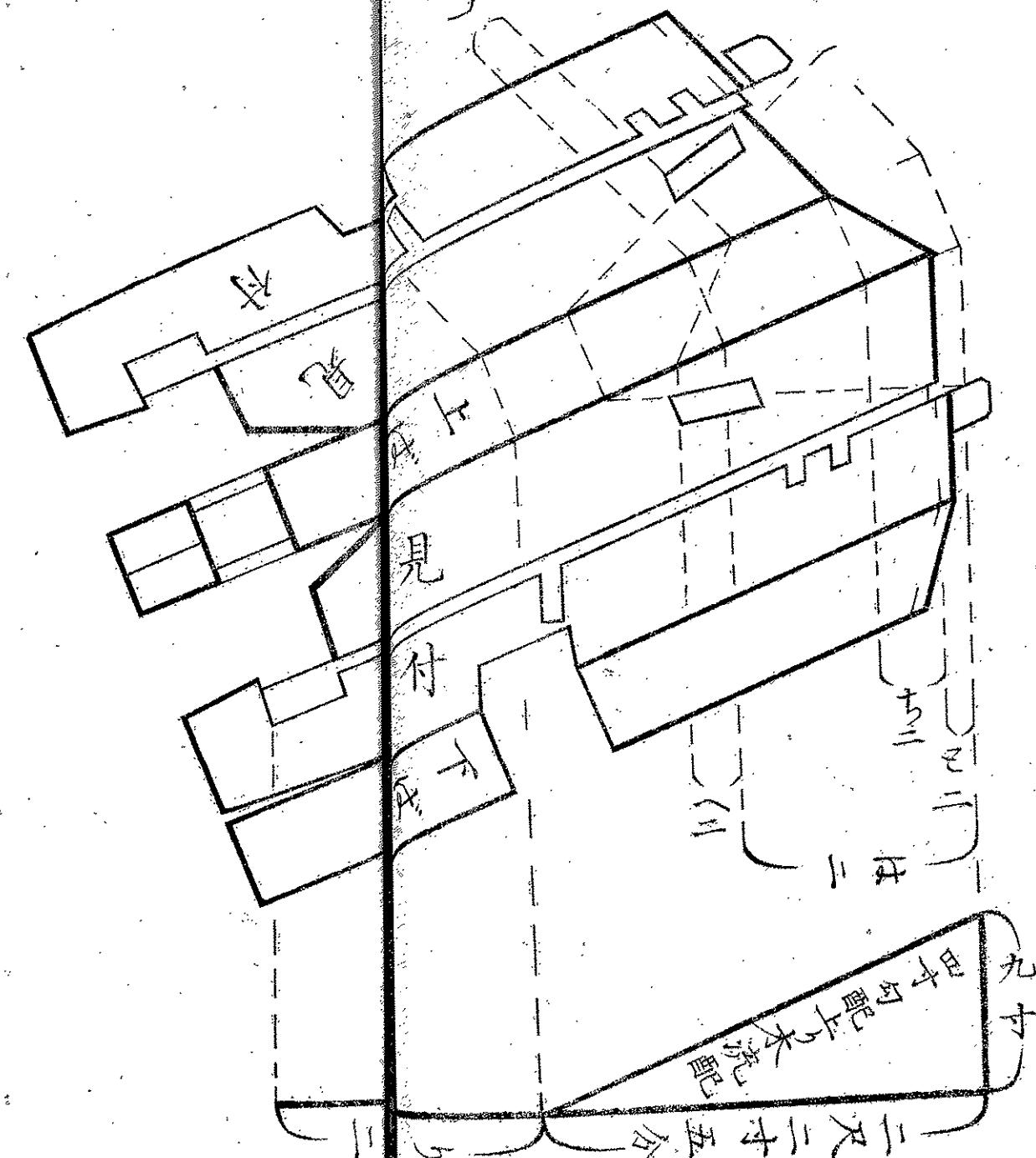
地建たて同





同上
木配付
並
鷄栓究

同上
木流
四寸勾配方
配付



一上り水のせいを桶ますに寫様よを上り木
せい立水たてみずの寸すこを桶ますの立水たてみずに寫より

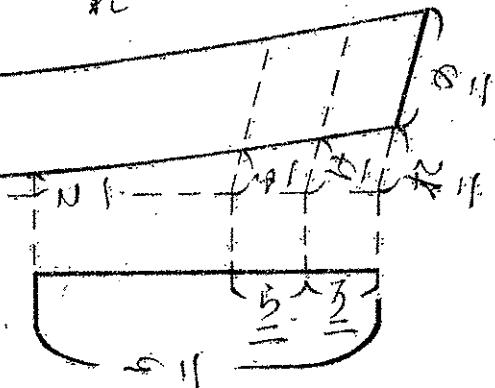
形反同

てよ配勾寸四轉面向

方配勾寸四流れ

前筋外側

方配勾寸十三流れ



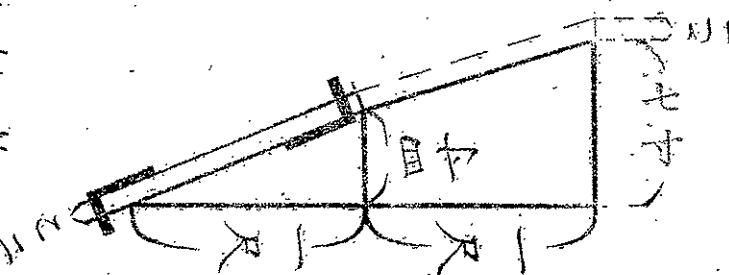
水立反同

方配勾寸三流れ

川州

直や

一茅員反と立水よ直す此
三方の圖もまへてこの反
を立水よ直して桶の立水よ爲也

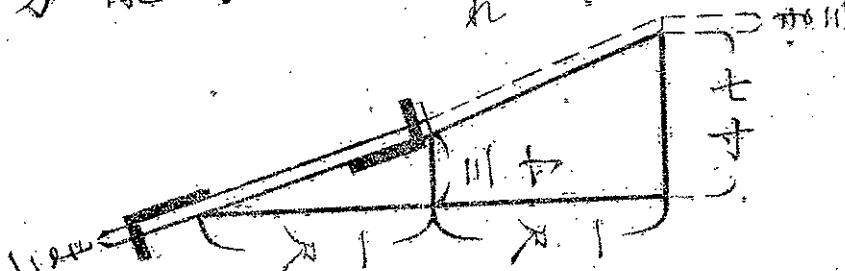


茅同

方配勾寸四流れ

川州

七寸



形反同

てよ配勾寸四轉面向

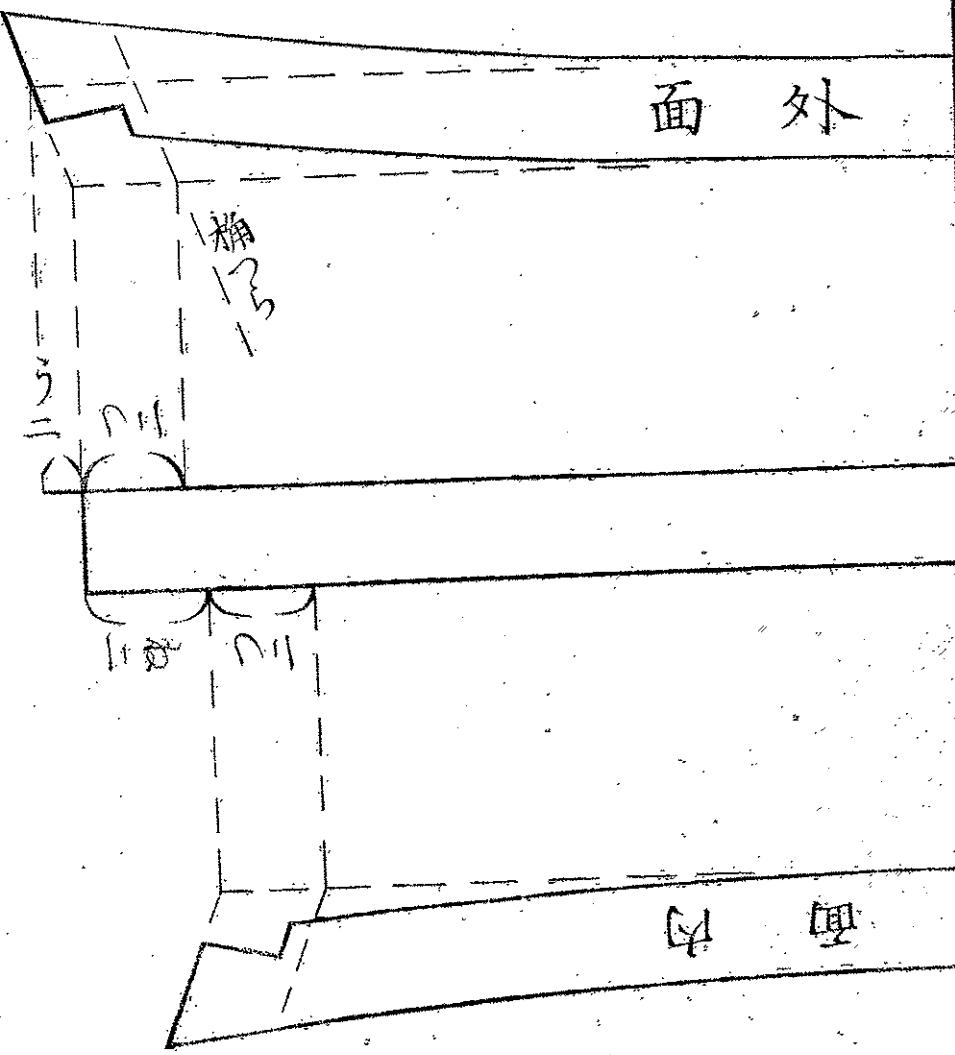
方配勾寸四流れ

大工作法書角衣絲者之

外壁

同茅負留墨

流れ寸勾配方



合留配方

向留配

ハラスム

桶引
三

二

一

四

五

六

七

八

九

十

十一

十二

同

留墨

下

流れ寸勾配方

ハラスム
ナセム

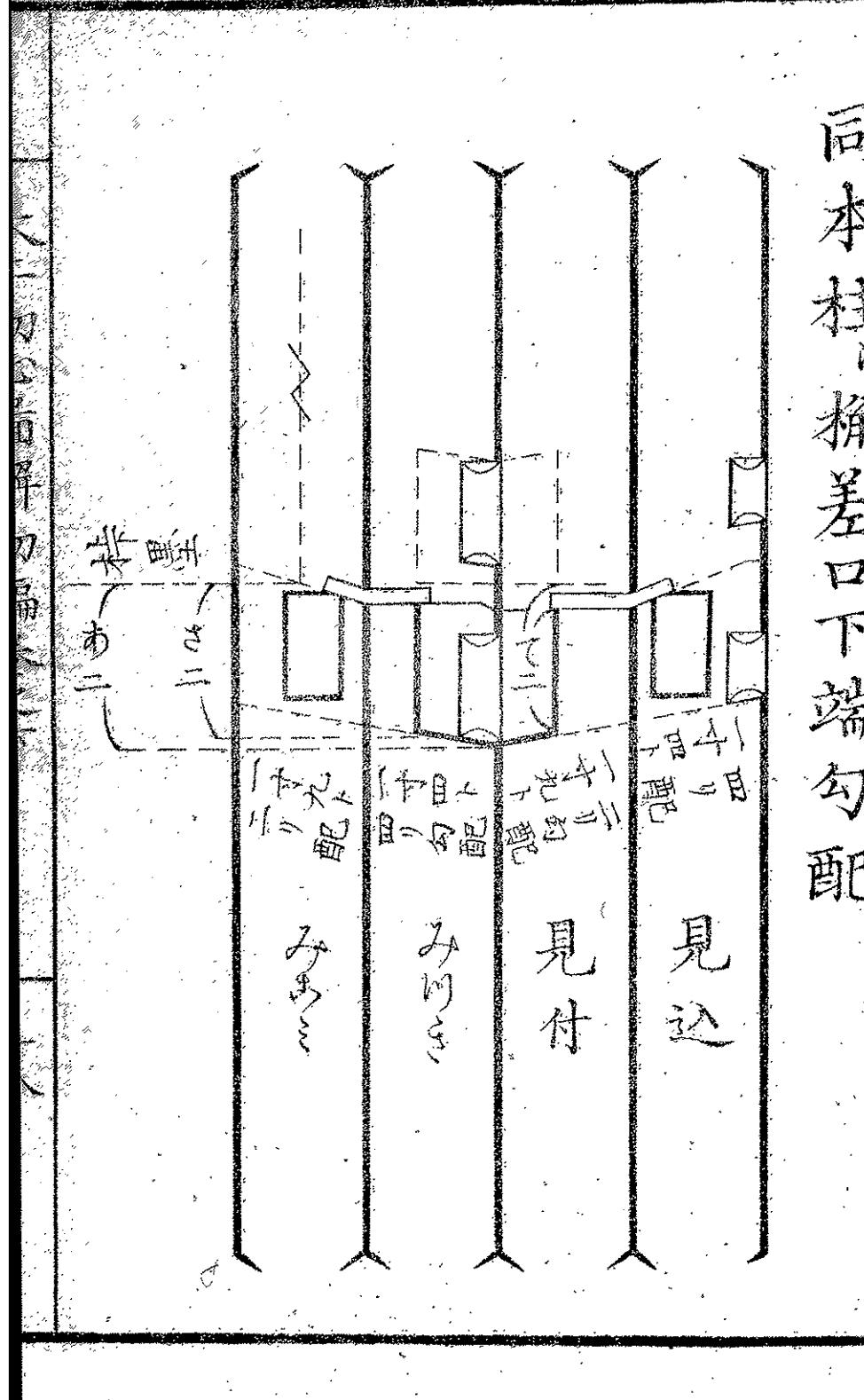
桶引
三
二
一
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二

通りと
通りを

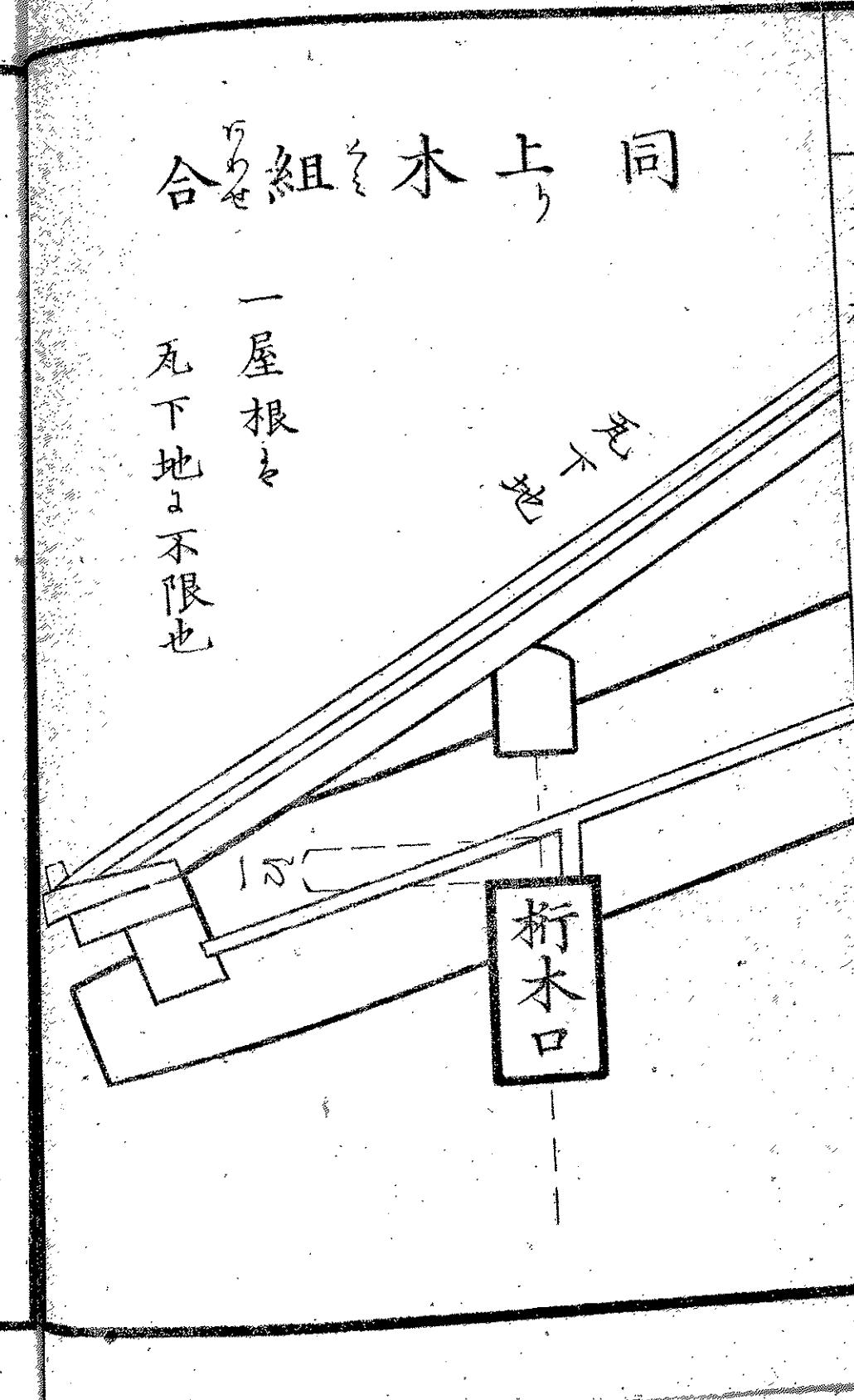
寫て向留の

勾配ある也

大工作法書角衣絲者之



同本柱に桶差口下端勾配

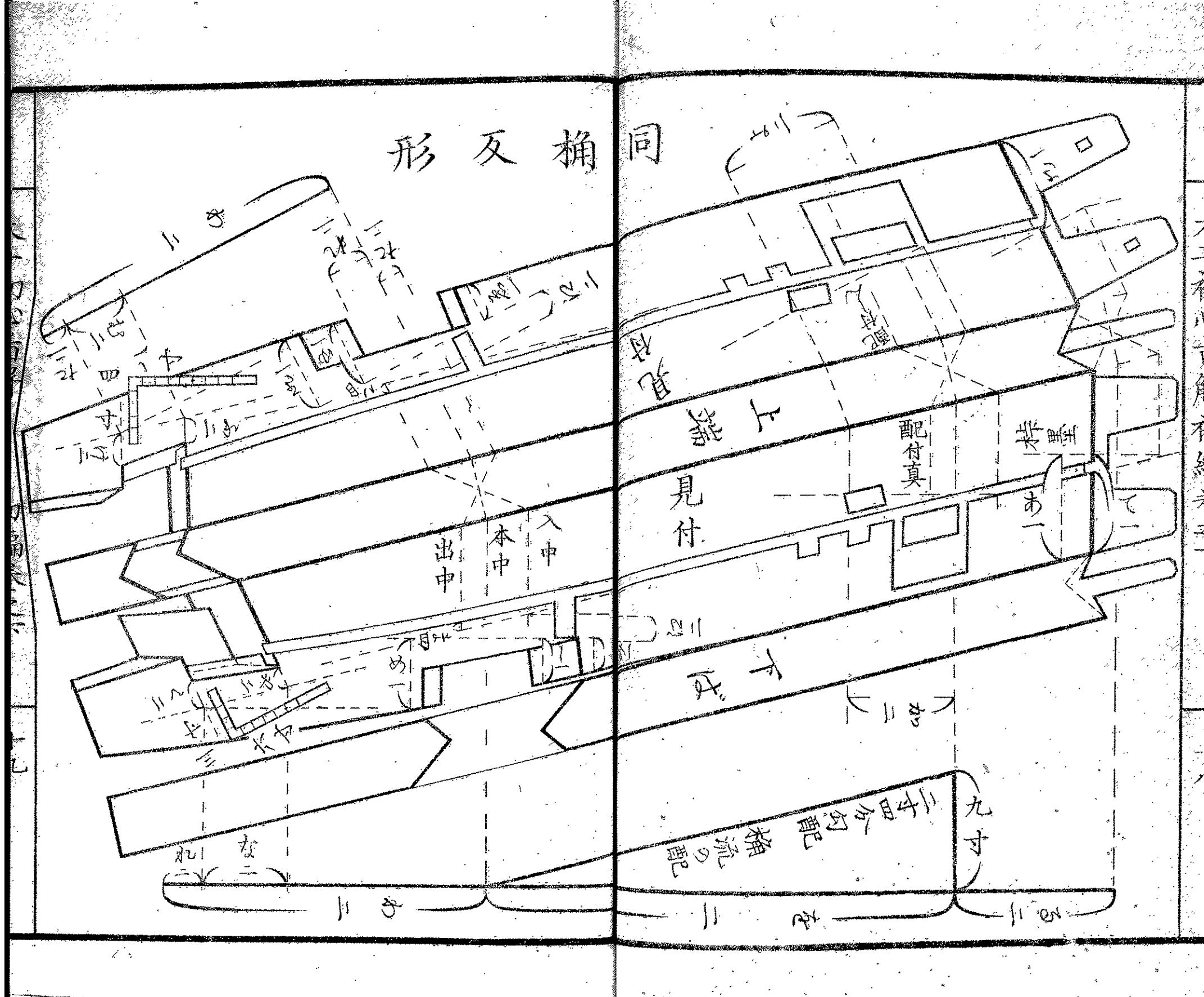


同木組より上り

一屋根

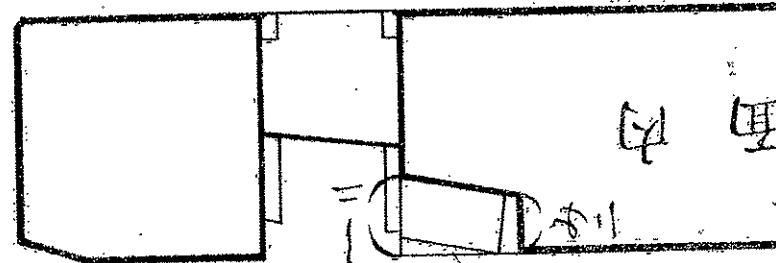
瓦下地は不限也

杉木口

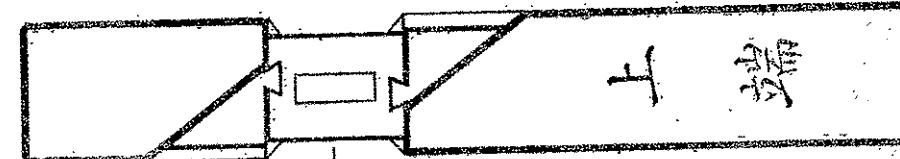


行^サ筒^{ハシ}? 井^ホ同

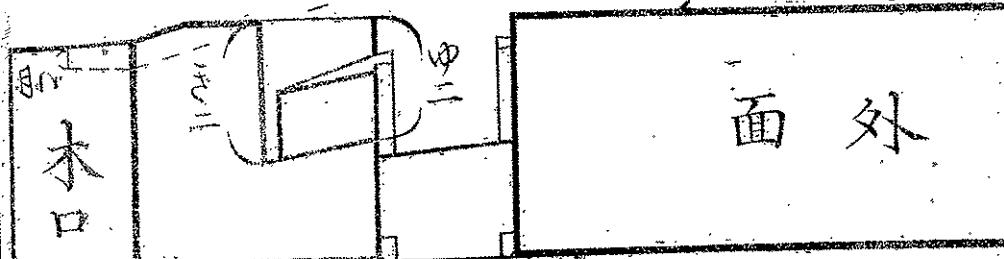
方配勾寸四流れ



内



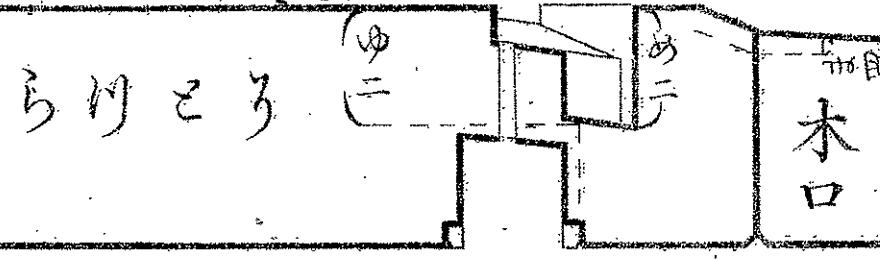
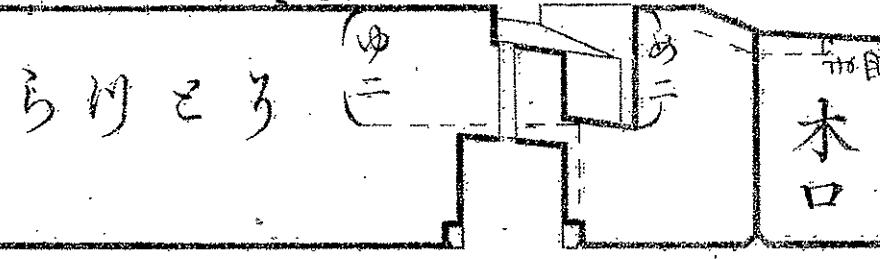
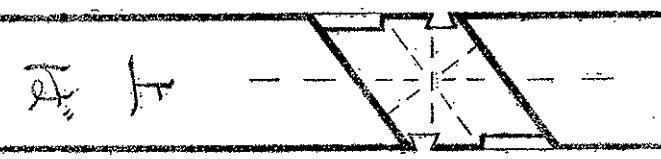
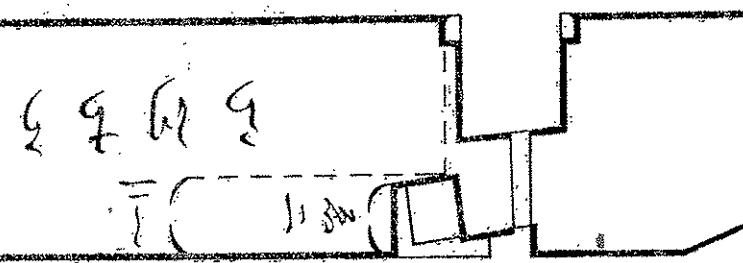
上



木口

懸^{スル}落^{スル}桶^{ハシ}

方配勾寸三流れ



同桶口脇墨打様並よ同木口

あわせすらうちゅう

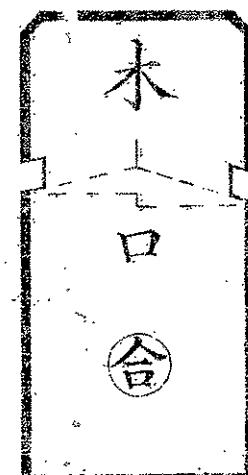
二寸四ト勾配

口脇墨

見立

一本口を兩片中を

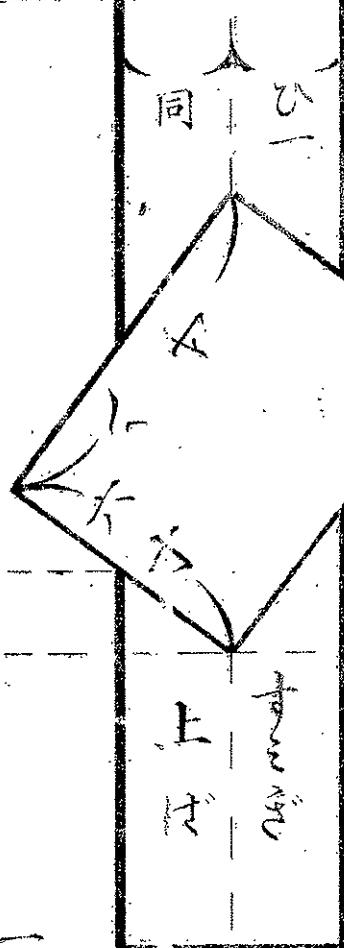
一本合なる如也



一口脇墨打様より隅振の
八寸又六寸を元よりで
様より口脇迄の寸を定む也

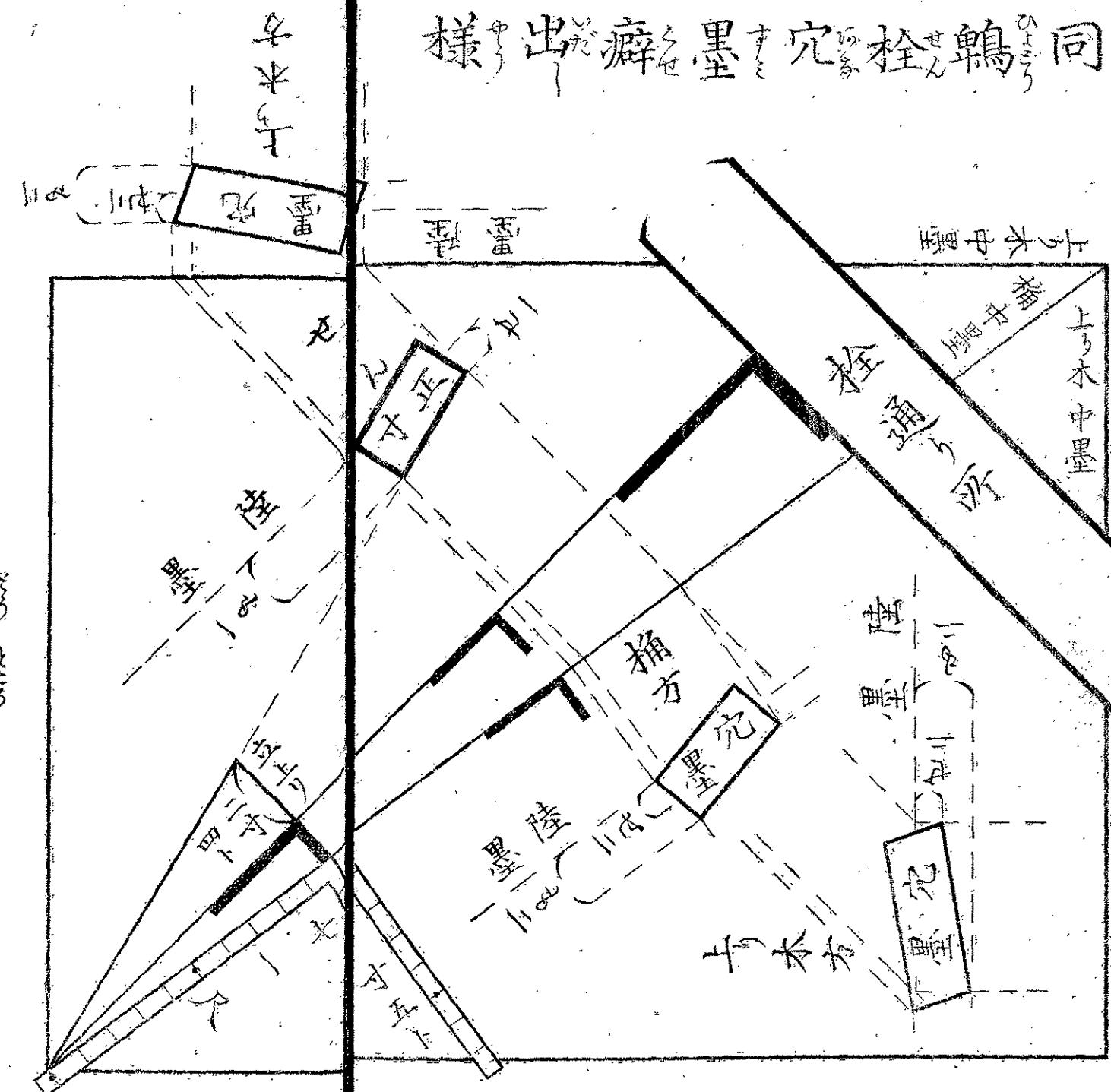
二寸四ト勾配

248



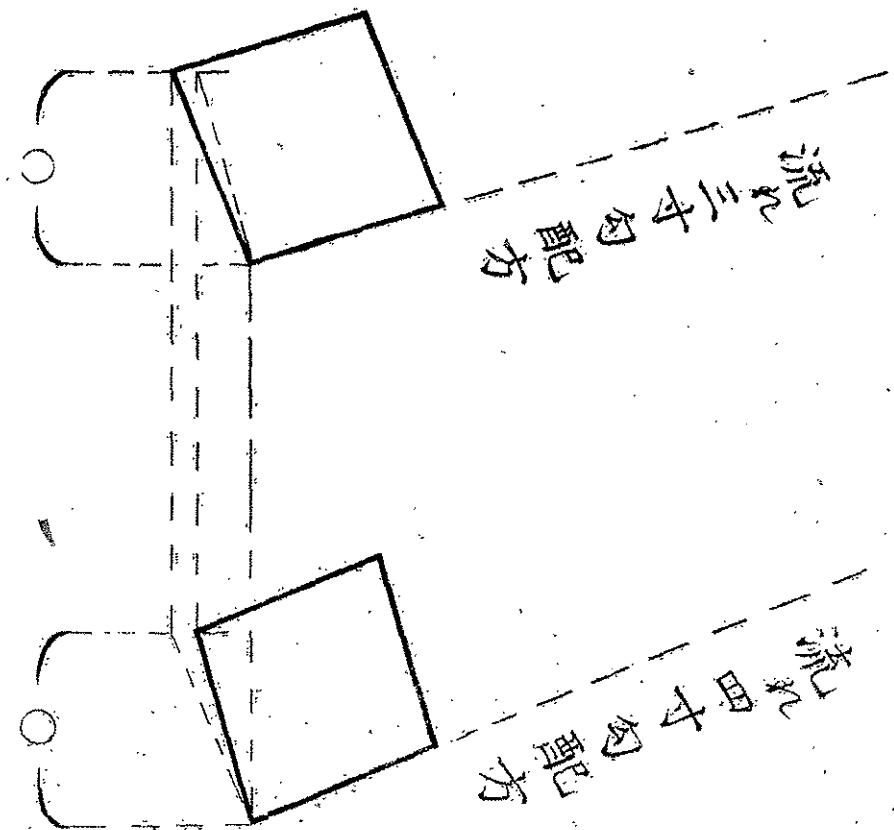
同
人
ひ
人
ト
上
さ
木
上
口
合

様出癡墨穴栓鷄同



一鷦^{セキ}栓^{スイ}穴^{アメ}墨^{モク}癖^{ハタキ}出^{アヒ}一様^{イチヤウ}其^シ栓^{スイ}の通り所^{アヒ}を引付^{スル}其^シ通り所^{アヒ}に真^{マカニ}
曲尺^{カクス}を掛^{ケル}て引通^{スル}ト^{アヒ}亦^{マタ}七寸五分^{ナナセンゴン}一尺^{イチシ}を引^{スル}ト^{アヒ}其^シが^シ
に當^ル様^リ右^{シラフ}引通^{スル}ト^{アヒ}真^{マカニ}曲尺^{カクス}をカリ^{スル}ニ寸四分^{シシロ}立上^{スル}ト^{アヒ}勾配^{カブシ}を
引^{スル}其^シ配^シは鷦^{セキ}栓^{スイ}の正寸^{ノミ}を引^{スル}其^シ轉^{カタ}より揃方^{アラビ}と上^{スル}木方^{キカ}の
穴^{アメ}墨^{モク}轉^{カタ}癖^{ハタキ}を出^{スル}ト^{アヒ}尤^{マタ}二寸四分^{ニシロ}を揃^{スル}勾配^{カブシ}一尺^{イチシ}の立上^{スル}也^ト
亦^{マタ}七寸五分^{ナナセンゴン}一尺^{イチシ}有^{スル}隅振^{カツバシ}の八寸^{ハチセン}又^{マタ}六寸^{ロクセン}と同振^{ドウバン}あり^ト

茅同員口木癖を仕様す



一平の茅員を麥よ難作時を反り元茅員を麥よ作り
平の茅員を真曲尺にて真曲尺より麥迄内外の
面をねぢる也亦茅員外面兩方とも同轉作もぢり
其作も茅員留の轉ふ桶中墨と振違ふ有るから
一屋根勾配何寸亦隅振何程も此振圖の理方あり
一鷄栓も隅大檣も用ひ依て大檣を組物の部に著す

明治十四年十二月五日板權免許
明治十五年一月廿日出板

東

著述人

稼田長司

千葉縣上原平民

木原區柳原町
三番地寄留

和歌山縣平民

北島茂兵衛

通壹丁目

十五番地寄留



出板人

學社
新編
校點

図書 和図書 邈



a.1380838295a

福岡教育大学蔵書